



2月「平和と紛争予防/紛争解決」月間に因んで、議題「紛争と平和」。
 先ずRC誕生の原因と歴史を見れば自然とその意味が理解できると思います。発祥の地シカゴの街はあの有名なカボネが政治経済を支配していた暗黒の時代背景があり、田舎で生まれ育ったポール・ハリスにとって大変生きづらい都会だったようで、友達3人に呼びかけ食事会を持ちお互いの居場所として1905年2月23日に創立した時の理念が親睦会として発足したのです。その4人とは①ポール・ハリス（弁護士）②ガスターバス・ローア（鉱山技師）③ハイラム・ショーレー（洋服屋）④シルバスター・シール（石炭商）

1917年6月18日アーチ・クラウン氏がロータリー財団設立を提案し、承認されて今日に至る。
 1954年ハバード・テラー氏が「四つのテスト」を実践して倒産企業を再建した実績から職業奉仕の理念として現在に至る。
 1999年国際親善奨学生制度を設立し、6ヶ国8大学に国際問題研究センターを設立、2年修士課程が実践される。
 2002年「平和フェロー」を設立。平和づくりに貢献できる人材をロータリー平和センターで学ばせ、その学生たちを「平和フェロー」と呼び、奨学金が支給されている。
 今年度でRC創立115年目を迎え、世界各国でRC財団で育成された人材が多数活躍されている事は皆様も御承知の通りです。更に200年後には、世界平和が達成されると信じています。世界人口の20%がロータリアンになり、世界各国の20%の国が平和になれば実現するのです。

自分の入会当時を振り返ると、宜野湾RCの創立が1966年1月10日ですが、その4年後の1970年9月7日に入会しました。徳嶺医院開業が1964年4月で当時としては市内で新築で入院可能な施設は初めてだったので、非常に目立ったせいか？司法書士の奥里将清氏と琉米住宅社長の石川孝信氏が2度、3度と訪問されて宜野湾RCへの入会を勧められました。「開業したばかりで多忙なので、入会しても出席率は良くないと思うが、若しよければ入会宜敷くお願いします。」と決着した事を思い出します。さて、入会したものの「何のためにRCにいるか」と良く理解できずに「今後続けるべきか、退会すべきか？」と悩んでいる時に「ポール・ハリス伝」の本と出会いました。ポール・ハリスの人生観に共感し、この会には死ぬまで居る価値があると納得して決断し、今日に至って、気づいたら50年目です。現在の心境は、今元気で生きているのも両先輩のお陰だと感謝の念で一杯です。又、ボクシング元世界チャンピオンの比嘉大吾氏の記事に「今後の生き方は自分で決断する」とあり、非常に共感し、理解できるのです。

そして、参考までにRCを退会する人の原因を要約すると、

- 第1、職場が不安定で経済的に不安定になるから
- 第2、対人関係の歪みがあるから
- 第3、RCの目標・理念がよく納得できないから
- 第4、個人の事情があるから
- 第5、自分の生き方に悩んでいるから

次に日本のRCの設立は、1920年10月20日に東京RCが誕生し、1921年4月1日に世界で855番目のクラブとしてRIに承認されたのです。当時の立役者が米山梅吉氏と福島喜三次氏である。2019年11月現在、2,251RCと会員89,576人となっています。

最後に、私の心身医学的問題解決法を要約すると、

- 第1、自分が何を望んで、どうなりたいかを明確に書き出す。
- 第2、それはどうすれば達成できるか？考えられるだけ多く書き出して気づく事。
 そして自分に合ったやり方で実行する。
- 第3、決断したら、計画→実行→評価→改善の繰り返し
 楽しくやっているといつか必ず達成する。決して諦めない事。

結論「やらないで後悔する人生よりは、楽しんで実行して失敗に学ぶ、繰り返しが人生となり、悔いのない人生となるからです。」世界の平和は個人の平和の積み重ねの集合体だからです。